

第1回 地方鉄道向け無線式列車制御システム技術評価検討会 概要

1. 日 時 : 令和2年2月4日(火) 13:00~14:30
2. 場 所 : 中央合同庁舎3号館4階特別会議室
3. 出席者 : 中村日本大学名誉教授、水間東京大学特任教授、高橋日本大学教授、
研究機関、関連団体、鉄道事業者、
国土交通省鉄道局、日本信号株式会社
4. 結果概要 :

事務局から技術開発の概要について、日本信号からこれまでの検討状況について報告を行い、鉄道総合技術研究所から鉄道信号システムの安全性評価について話題提供があった後、意見交換を実施。委員からの主な発言は以下の通り。

- システムを導入するにあたり、都市鉄道向けのものと比較して、簡素化することで初期投資を抑えることができるが、導入後の運用コストにも配慮する必要がある。
- 無線を用いるため、状況により通信が途切れてしまうことがある。今後の試験等を実施していく中で、システムの安全性だけでなく、安定性についても検討していただきたい。
- システム開発をする上で、無線機器や制御機器等の故障等、異常時の対応を含めて、検討していただきたい。
- 人口減や高齢化により働き手が減少し、また鉄道施設の経年劣化も進展する中、経営の厳しい地方の鉄道事業者にも広く普及するようなシステムとなることを期待している。